



## 手をよく洗う・調理したものはすぐ食べる！ 町内全域で食中毒予防パレード

7月16日から8月15日までの食中毒予防月間の運動の一環として、7月17日、町食品衛生協会が中心となり、飲食店等の巡回指導と食中毒予防パレードを行いました。

これは食中毒が多発するこの時期に合わせて毎年行っているもので、これまで約30年間続けられています。

新津保健所の監視員や町の指導員が町内のスーパーや飲食店などを巡回し、調理室や器具の清潔さの検査などを行った後、町内全域を3台の車で2時間ほどパレードし、食中毒予防を呼びかけました。

協会では「手をよく洗い、冷蔵庫を過信せず、調理したものはすぐ食べるように」と呼びかけていました。



## あま〜い旬の味に舌鼓 たもぎの里でトウモロコシまつり

7月9日、たもぎの里でトウモロコシまつりが開かれ、ゆでたての町内産トウモロコシが、先着100名に1本10円で提供されました。これは、白と薄黄色の粒が並んだアルテミスという品種で、ゆでた後に薄い塩味をつけたあつあつのトウモロコシは、すぐに売り切れてしまいました。

また、各店頭でも小さく切ったものを試食品として置いて、訪れた町内の人や観光客に振る舞っていました。「甘くておいしい」と評判で、箱ごと買う人の姿が見られました。

なお、たもぎの里は、毎日午前9時から午後5時まで営業していますので、お気軽にお立ち寄りください。

## 多くの人たちに支えられ のぎくの家で恒例の夏まつり開催

7月22日、上町にある視覚重複障害者施設「のぎくの家」で夏まつりが行われ、多くの人たちで賑わいました。

このまつりは、イベントを通して多くの方々に感謝し、たくさんの人たちと交流をしながら障害者について理解を深めてもらおうと毎年行われており、今年で11回目。

中学生や婦人会、ボランティア団体、企業など多くの人たちに支えられ、午後5時から8時まで行われました。

まつりでは、通所している人たちによる手作り石けんや牛乳パックから作ったはがき、町内産の野菜などの店が並び、また、ステージでは、通所者による楽器演奏や歌、地区の人たちなどによる神楽舞い、人形劇、インド舞踊などが披露されました。



## 地域全体で子どもたちの健全育成を考える 木津・二本木地区小中学校連絡会開催

7月14日、木津農業構造改善センターで木津地域公民館育成部、二本木育成会主催による夏休みを前にした小中学校連絡会が行われ、保護者等約50名の参加がありました。教育長、小中学校の校長先生、各担当の先生から現在の学校や生徒の様子、夏休みの注意点などの話があった後、沢海駐在所より防犯の現況について説明がありました。

続いて、各地域のPTAから活動状況や今後の計画の発表があった後、質疑や意見交換が行われました。保護者からは、いじめや通学路の問題など活発な意見が出され、先生方からの回答を真剣に聞いていました。



## 潤いのある水辺を守ろう 阿賀野川・早出川流域でクリーン作戦実施

7月25日、阿賀野川クリーン作戦が新潟市から五泉市までの阿賀野川・早出川流域で行われました。

7月が河川愛護月間であることから、関係機関が共同で阿賀野川堤防の一斉清掃を行うことにより、潤いのある水辺を守ることを目的に毎年行われています。

阿賀野川工事事務所や県、横越町や新潟市など8市町村及び協力団体から約200名が参加。沢海河川敷の阿賀野川床固め公園で開会式が行われた後、雨の中、それぞれの分担地区に分かれて堤防を中心にゴミ拾いを2時間行い、川の兩岸合わせて4トントラック9台分のごみを回収。空き缶やビニール、弁当箱などが目立ちました。



## 障害を乗り越え、スポーツを楽しむ 身体障害者体育大会開催

7月16日、総合体育館で新潟県身体障害者体育大会地区大会が開催され、中・東蒲原郡、新津市、五泉市、白根市から約200名が参加しました。

浅見町長から「スポーツとレクリエーションを通して、日頃きたえた力を発揮し、親睦を深め、連帯の和を広げてください」とあいさつ。準備体操の後、障害の程度に応じて、パン食い競争や風船割り競争といった個人種目が行われたほか、輪投げや玉入れなどの団体戦が繰り広げられ、応援席からたくさんの声援が送られていました。

なお、大会の開催にあたって、中学生や体育指導員などのみなさんが、ボランティアとして協力していました。